

生誕130年没後50年 『銀の匙』の作家 中勸助展

記念講演会

『銀の匙』の 授業から 学んだこと

講師



黒岩祐治

神奈川県知事

2015年7月4日(土)

午後2時開演(午後1時30分開場)

*午後3時頃終了予定

会場

神奈川近代文学館
展示館2階ホール(定員220名)

参加
無料

お申込方法

6月16日(火) 必着

官製往復はがきの往信用裏に「7/4講演会参加希望」、代表者の氏名、人数、住所、電話番号、友の会会員は会員番号、返信用表に返信先の住所、氏名をご記入の上、

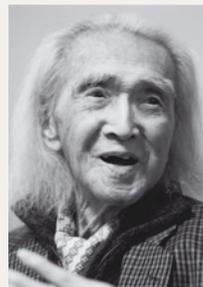
〒231-0862 横浜市中区山手町110
神奈川近代文学館 講演会係

までお送りください。応募多数の場合は抽選となります。

黒岩祐治(くろいわ・ゆうじ)

1954年、神戸市出身。灘中学校、高等学校(通称・灘校)で6年間、橋本武氏から国語を学ぶ。1980年、早稲田大学政治経済学部卒業後、フジテレビジョンに入社。報道記者、番組ディレクターを経て、1988年から「FNNスーパータイム」「(新)報道2001」などのキャスターを21年半務める。その間、自ら企画した報道番組で3度にわたり民間放送連盟賞を受賞。2009年に退社し、国際医療福祉大学大学院教授となる。2011年から神奈川県知事を務め、2015年4月、再選を果たした。『灘中 奇跡の国語教室』『地産地消のエネルギー革命』『末期ガンと漢方』など多数の著書がある。

橋本武(はしもと・たけし 1912～2013)



撮影・寺崎誠三

高校教師、国文学者。1934年に東京高等師範学校(現・筑波大学)を卒業、旧制灘中学校教師となる。小説『銀の匙』を3年かけて読み解く授業を行い、灘校を東京大学合格者数日本一へと導く。1984年に退職するまで50年にわたる教師生活で、黒岩氏のほか作家の遠藤周作や東京大学総長、最高裁判所事務総長など各界のリーダーを育てた。著書に『解説 百人一首』『解説 徒然草』『銀の匙』の国語授業』『現代語訳 源氏物語』などがある。

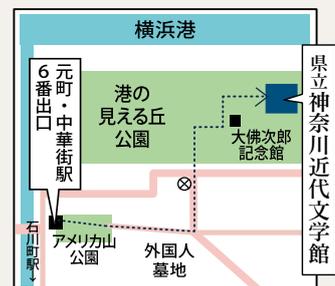
主催：県立神奈川近代文学館、(公財)神奈川文学振興会

横浜・山手 港の見える丘公園 Kanagawa Museum of Modern Literature 〒231-0862 横浜市中区山手町110

県立神奈川近代文学館 tel.045-622-6666
http://www.kanabun.or.jp

ACCESS GUIDE ※駐車場がありませんので、公共交通機関等をご利用ください。

〈東急東横線直通・みなとみらい線〉元町・中華街駅下車 6番出口(アメリカ山公園口)から徒歩10分
〈バス〉いずれも「港の見える丘公園前」下車、徒歩3分
・神奈川中央交通⑩系：桜木町駅～保土ヶ谷駅 ・横浜市営バス②⑩系：桜木町駅～山手駅
・観光スポット周遊バス「あかいくつ」：桜木町駅～港の見える丘公園前(中華街・元町ルート)
〈JR根岸線〉石川町駅下車 元町口(南口)から徒歩20分



5月30日(土)～7月20日(月・祝) 生誕130年没後50年 『銀の匙』の作家 中勸助展